

SPR工法協東海支部

技術研修会開く

発注者ら50人参加

日本SPR工法協会東海支部（山越・相澤宏暢社長）は21日、大府市横根公民館と市民体育館で技術研修会を開催し、管路のインフラに携わる発注者ら50人が参加した。写真。

冒頭のあいさつに立った花井組花井宏基社長は、「近年、管路の老朽化に伴いアセットマネジメントへの取り組みが進



んでおり、SPR工法は管路の改築や更生分野で全国でも多く採用している」とし、「普段なかなか見ることができない管路内の施工をご覧いただき、ご理解を深めていただきたい」

と述べた。

研修では、実機によるデモンストレーションを行った後、木村治生氏が講師となってJISの制定・耐震指針改訂などの管渠更生工法セミナー、元会計検査院の田中雅博氏が講師となって更生工法を会計検査する時のポイントなどを説明した。

日本SPR工法協会東海支部では本年度、今回の大府市と合わせて静岡県や三重県、愛知県名古屋市で合計6回のセミナーを行っている。